

公衆衛生事業部 活動報告

1. 新潟県小児肥満等発育調査

小児期からの健康づくりと生活習慣病予防の視点で調査を開始し、25年が経過しました。全県において健康づくりの対策や食育推進の基礎資料となる調査として、全国でも先駆的な取り組みです。

- ✿調査対象：県内市町村保育所等 3～5歳児
- ✿調査時期：6月
- ✿調査結果：肥満とやせの出現状況
 - ・肥満度+15%以上（肥満）：5.54%
 - ・肥満度-15%以下（やせ）：1.07%

肥満は5歳児になると増加、やせは年齢が上がるにつれて増加する傾向が続いています。肥満度+15%以上（肥満）の推移をみると2008年以降は4%台を維持していたものの、2020年度からは5%台となっています。

2. 生涯教育実務研修会

- ✿実施日：オンデマンド 令和4年6月15日（水）～6月21日（火）
- ✿参加者：196名
- ✿講演：「小児期の体格評価と小児肥満対策」
講師：日本赤十字北海道看護大学 看護学部 教授 伊藤 善也 氏

小児期から学童、生徒の肥満は、遺伝や親の生活習慣や経済格差の影響を受ける事や、個人へのアプローチからライフスタイルに合わせた社会からのアプローチの必要性がさらに重要になっているとの認識が深められました。

3. 公衆衛生事業部研修会（オンライン）

- ✿実施日：令和4年12月3日（土） ✿参加者：32名
- ✿講義：「公益社団法人新潟県栄養士会と行政（保健所・市町村）との連携について～高齢者の栄養・食生活支援の取組を中心に～」
講師：公益社団法人新潟県栄養士会 会長 折居 千恵子 氏
- 事例発表①「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 上越市の取組について」
上越市役所 健康づくり推進課 健診・相談係 栄養士長 植木 正子 氏
- ②「高齢者の栄養ケア～医療・介護関係機関との連携～」
南魚沼地域振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 磯部 澄枝 氏

新潟県栄養士会の取組み、栄養CSについて情報共有、また、地域包括ケアシステムの構築のため、栄養士間のかかわりが重要と再認識できました。